

日本のバイク社会に物申す！

これって、 どうなの！

まとめ&写真：
中島みなみ

列車やバスの通勤は、
いわゆる「3密」状態と同じ高いリスクがある。

その回避策としてこの連載22回でも

「今こそバイク」を展開した。今回は、さらにその先、

感染拡大対策でバイクを最大限活用するにあたって、

費用0円できる有効策を、バイク業界が提案する。

ラッシュ時のリスクは高い

緊急事態宣言が全国に拡大された
4月16日夜、感染症対策専門家会議
の尾身茂副座長は西村経済財政担当
相と同席した会見で、列車に乗るリ
スクについてこう語った。

「我々、前から申し上げていること
ですが、満員電車は避けていただいた
ほうがいい。人数が多くなると、数が
多くなるほど（リスクが）増える。満
員のようなことは避けていただいた
ほうがいい」

外出自粛が強く要請され、首都圏
の列車でも空席が目立っているが、
通勤時間帯は時差出勤をしても、ラ
ッシュがなくなるといふわけにはい
かない。

外出自粛が強く求められる反面、
政府が「事業の継続を求める職種」は
医療や介護、電気ガスなどインフラ
運営、生活物資や食料販売関係、ごみ
処理、冠婚葬祭、金融、物流、国防、警

第23回
今こそ
駐禁解除

下／「満員電車は避けていただいた
ほうがいい」と呼びかける感染症対策
専門家会議の尾身副座長。右／緊
急事態宣言の全国拡大で書き換えら
れた政府の基本的対処方針。



「3密避けて！」を
呼びかける小池
東京都知事。

備など思いのほか広い。バイクを含
めた整備も「国民の安定的な生活
の確保」のため、その1つに入ってい
るのだ。バイクを所有するすべて
の人がバイク通勤に切り替えれば、
自分自身も列車利用の人も両方の感
染リスクを下げることはできる。

だが、通勤で使うためには駐車場
を確保しなければならない。「今こそ
バイクを！」と呼びかけても、列車利
用者の多くは、それができないから
切り替えられない、という現状があ
った。これに対する効果的な解決策
を、政府や東京都に働きかけてい
る人がいるのを、ご存じだろうか。

費用0円、駐車禁止の規制解除

この連載でも取り上げた全国オ
ートバイ協同組合連合会の吉田純一
名誉相談役だ。彼は言う。

「国もラッシュ対策が必要というわ
けですけど、自転車や徒歩に切り替

えられる人には限度があります。誰
でも仕事で疲れ切っているわけだ
から。でもバイクなら疲れない。原付
なら普通免許でも乗れるし、コミュ
ニーターなら新たに購入しても負担も
軽い。駐車料金も四輪車の駐車場と
比較したら安い」

しかし、駐車場はない。

「それだから、感染拡大対策が強く
求められている中では、全国にある
駐車禁止の『二輪車駐車を除く』区間
を解除したらいいんですよ。感染症
対策のほとんどはお金がかかります。
でも、この対策には一切費用がかか
らない。条文を書き換えるだけで、す
ぐに対策できます」

確かに、「二輪車駐車が牛歩でし
か増えない中で、感染症対策だから
新設を急ぐなど不可能だ。その費用
はほかに使ったほうがいい。」

「お金だけの問題じゃないですよ。外
出自粛が求められる中でも駐車監視
員や警察官は取締りを続けている。

この人たちも感染のリスクにさらさ
れている。ものすごく迷惑になると
ころだけ規制を残して集中して取り
締まれば、こういう人たちも安心で
きますよ」

吉田氏は現在、オートバイ政治連
盟の会長を務める。このプランを持
って、与党や行政のトップに働きか
けている。

「私はこのことを、総務省の高市早苗
大臣、公明党の北側一雄副代表に手
紙を書いて訴えました。小池百合子
都知事にもメールしました。本当だ
ったら会いに行こうですが、こう
いう時期ですから叶わなかったの
ですが、これは本当に大事なことです」

総務省の高市氏は都道府県など自
治体担当のトップだ。北側氏は党オ
ートバイ懇話会長で、消費増税でバ
イクをポイント還元の対象に含めた
立役者だ。そして、小池氏は言わずも
知れた1日100人以上の陽性者が
発生する東京都で、感染症対策の最

前線に立つトップである。
国内で陽性患者が発見されて3か
月余り。この間に判明したことは、感
染対策は、できる人とできない人の
格差が大きい、ということだ。国や自
治体は感染予防のために在宅勤務や
時差出勤を推奨するが、それは一人
ひとりの意志だけでは、どうにもな
らない。しかし、誰かがバイク移動に
切り替えるだけで、人との接触を8
割減らすことも可能になる。

しかもヘルメットシールドなどラ
イダーの安全装備は、そのまま飛沫
感染防護にもつながる。まさに感染
予防の最強の移動手段だ。

今こそ、バイクを！ どうかこの
施策を実現して、すべての国民の感
染を防ぐ一助としてもらいたい。

バイク通勤者の増加は
電車通勤者の
ためにもなる！
駐禁緩和で推進せよ！

